

# 市民協働事業提案制度 自己評価シート

年度実施事業

作成日 令和3年3月31日

事業名	スイス・ラトビアホストタウン市民交流推進事業
記載団体 又は担当課	多文化・男女共同参画課国際交流室

## ※評価点（5段階）の基準

5点：（十分に達成）達成度80%以上 / 4点：達成度60%～79%

3点：（一部に問題はあがるが概ね達成）達成度40%～59% / 2点：達成度20%～39%

1点：（達成度が著しく低い）達成度20%未満

## ■（1）市民協働の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的は共有できましたか。	5	市と提案団体との協働により、オリンピック、パラリンピック終了後の交流の継続に向け、目的を共有することができた。
②役割分担は適切にできましたか。	5	提案団体は、メンバーの持つ外国語のスキルや各種団体等とのつながりを活かして事業を進め、市は、行政の立場から、必要な連絡調整を行うなど、適切に役割分担を行えたと考える。
③十分な意思の疎通が図られましたか。	5	それぞれの事業の実施に当たり、対面による連絡調整に加え、オンラインによる連絡も取り合うことで、意思の疎通を図ることができた。
④対等であることを理解し、良好で持続可能な関係を築き事業を実施できましたか。	5	役割分担を的確に行うことで、対等な立場で事業に取り組むことができた。
⑤市民サービスの向上が果たせましたか。 また、相乗効果・波及効果が得られましたか。	5	市立高校の生徒が参加できる活動が実施できたことで、若い世代への交流につなげていける可能性が出るなど、次世代の交流への波及効果が得られたのではないかと考える。

評価の流れ

自己評価シート

→

相互評価シート

## ■ (2) 事業内容の観点から

評価項目	評価点	補足(評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など)
①目的・目標は達成できましたか。	5	新型コロナウイルスの影響もあり、対面での活動が制限される場面もあったが、オンラインを活用することで、順調にヒアリングや調査等も行って交流可能性の調査を実施し、調査結果の報告を受けることができ、目的、目標を達成できた。
②スケジュールどおりに実施できましたか。	5	新型コロナウイルスの影響や国際情勢の変化により、日程調整が難航するケースもあったが、提案団体の工夫もあり、概ね、年度内で実施できた。
③-行政 事業の費用対効果はどうでしたか。 ③-市民活動団体等 提案事業実施にあたり事業費積算は妥当でしたか。	4	少ない予算の中で、様々な工夫をし、事業を実施できたと考える。
④事業に対する「受益者(市民)の満足度」は十分に図られましたか。 (受益者からの評価が分かる場合)		※受益者からの評価の方法と内容、または、評価できない場合はその理由など
		本事業は、市民等の交流を進めるため、可能性の調査を行っている段階であるため、受益者の満足度の把握は困難。

## ■ (3) その他、課題や改善方法など

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の長期化に加え、国際情勢の緊迫化により海外との自由な往来が難しい状況が新たに生じているが、次のステップとして、今年度の取組みを基に、次年度以降に、具体的な交流事業につなげていくことが期待される。